

小児看護方法 I 1単位（30時間）

科目目標：1. 小児に起こりやすい疾病と症状を理解する。

講 師：石井 勉

評価方法：出席状況・試験により評価する

テキスト：①系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学1、医学書院
②系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学2、医学書院

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
疾患の理解 (原因・症状・ 診断・治療)	1. 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常 1) 染色体異常 (1) トリソミー (2) ダウン症候群 (3) ねこなき症候群	2	講 義	
	2. 循環機能の障害 (1) ファロー四徴症 (2) ボタロー管開存症 (3) 川崎病 (4) 循環不全 3. 消化吸収機能の障害 (1) 口唇・口蓋裂 (2) 肥厚性幽門狭窄症 (3) 腸重積 (4) 胆道閉鎖症 (5) ヒルシュスプルング病 (6) 急性乳幼児下痢症（ロタウィルス腸炎） 4. 呼吸器機能の障害 (1) 上気道の炎症 (2) 気管支炎 肺炎 5. 排尿機能の障害（腎・尿路疾患） (1) 急性糸球体腎炎 (2) ネフローゼ症候群 (3) 尿路感染症 6. 代謝・内分泌機能障害 (1) 成長ホルモン分泌不全性低身長症 (2) クレチン症 (3) 糖尿病	2 8	講 義	

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
疾患の理解	<p>7. 神経機能障害</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) てんかん (2) 熱性痙攣 (3) 脳性麻痺 (4) 髄膜炎 (5) 水頭症 (6) もやもや病 (7) 進行性筋ジストロフィー <p>8. 運動機能（骨・関節）障害</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 先天性股関節脱臼 (2) 脊柱側彎症 <p>9. 造血機能障害と悪性新生物</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 鉄欠乏性貧血 (2) 特発性血小板減少性紫斑病 (3) 血管性紫斑病 (4) 白血病 (5) 神経芽細胞腫 (6) 脳腫瘍 (7) 血友病 <p>10. 免疫・アレルギー疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アトピー性皮膚炎 (2) 気管支喘息 (3) 食物アレルギー <p>11. 感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 細菌感染症 <ul style="list-style-type: none"> (1) 溶レン菌感染症 <ul style="list-style-type: none"> ①猩紅熱 ②伝染性単核球症 (2) ワクチンで予防できる細菌感染症 <ul style="list-style-type: none"> ①ジフテリア ②百日咳 ③破傷風 ④結核 (3) 消化管の感染症 <ul style="list-style-type: none"> ①腸管出血性大腸菌感染症 ②腸チフス 			

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
	<p>(4) ウィルス感染症</p> <p>①ヘルパンギーナ</p> <p>②手足口病</p> <p>③インフルエンザ</p> <p>④RSウイルス</p> <p>(5) ワクチンで予防できるウィルス感染症</p> <p>①水痘・帯状疱疹</p> <p>②麻疹</p> <p>③風疹</p> <p>④流行性耳下腺炎</p> <p>⑤ポリオ</p> <p>⑥日本脳炎</p> <p>(6) 単純性ヘルペスウイルス</p> <p>(7) 突発性発疹</p> <p>(8) 伝染性紅斑</p> <p>12. 免疫疾患・膠原病</p> <p>(1) 川崎病</p> <p>13. 感覚器疾患</p> <p>(1) プール熱</p> <p>(2) アデノイド</p> <p>(3) 仮性クローブ</p> <p>(4) 皮膚科疾患</p> <p>14. 不慮の事故</p> <p>(1) 溺水</p> <p>(2) 気道内異物</p> <p>(3) 薬物誤飲</p> <p>15. 精神領域疾患</p> <p>(1) 精神遅滞</p> <p>(2) 自閉症</p> <p>(3) 学習障害</p> <p>(4) 不登校</p> <p>まとめ</p>			